

# CIPA

## 中国インテリアプランナー協会

Chugoku Interior Planner's Association

<http://cipa21.com/>

2005 vol.10  
**通信**

Communication

〒731-5135

広島市佐伯区海老園1-13-7

(有)エルイーオー設計室 内

TEL: 082-923-2132

FAX: 082-922-0018

Email: [cipa@cipa21.com](mailto:cipa@cipa21.com)



### 会長のつぶやき

ニューヨークのJAZZを聞きに出かけた。地下の薄暗い店内に入ると、すでに人で一杯。物乞いかと思う白髪まじりのオバチャンが近づいてきた。席を捜しているのかと聞く。そうだとしたら、先導してくれた。カクテルを飲んでいるとチューニングが始まった。テナー奏者がいまブロードウェイで流行っているミュージカルの一節を吹きはじめ、笑いを誘った。それは音に対する驚異的なテクニックと素敵なセンスが同居するJAZZの世界を予感させてくれる仕草のひとつでした。

さきほどのオバチャンがまた出て来た。なんとミンガスの縁者らしく、本日のミンガス バンドの面々を楽しそうなジョークをまじえて紹介してくれた。メンバーにはアフリカで捕れたばかりのトロンボーン奏者とかアメリカのケーキのようにネチャと甘過ぎるスローバラードを聞かせてくれた若手のテナー奏者など多彩であった。

L.C/ユニテ・ダピタシオン/Marseilles/France

(15 APR. 2005 日高卓三)

Photograph: Yuji Nakagawa

# Interview

インタビューア:事務局広報

取材:平成17年6月1日

## 「とき」のひと 第4回 首藤 尚丈

\*このコーナーでは、様々な分野で活動されている方々に登場していただいております。

第4回目のインタビューは建築家でもあり、数学者、及び、現在ディアナサン株式会社代表取締役の首藤尚丈さんにお話を伺いました。

**Q.** 現在、世界初、86面体のダイヤカット法(従来の58面体に比べ輝きは3倍)を開発され、現在銀座にダイヤモンドのショールームを持っておられますが、建築家からの経緯を伺わせていただけますか?

**A.** 実は27才の時、独立しまして20年間設計事務所をしておりました。その頃、自分の本拠地であります仙台の町の形式から伊達正宗の時代に遡り、青葉城を中心にできた、町作り、都市計画に興味を持ち、1年間調べ、自費出版で「正宗の黄金の城(まち)」という本を出版しました。2,000部作ったのですが、あっという間に売り切れ、当時、丸善のベストセラーになりました。

ある時、設計というものは、建物を建てる事だけでなく、人生設計から始まって、いろいろな分野に応用できると思いました。そんな時、多面体であるダイヤモンドのカットに興味を持ちました。夢中になって解いている内に、2週間である数式が発見できたのです。頂点と辺だけで構成された多面体のモデル。この多面体は「E(辺の数)+2N(特定の数列)=V(頂点の数)+F(面の数)」というシュートレーン幾何学(首藤さんが自分の名前から名付けた)の新しい関係式から解かれます。それによって、私は光が螺旋状に回転して出ていくという構造を持たせました。また、それによって、プリズムを利用し、特定の色だけ反射させることもできます。つまりカットによって緑や青の輝きを創り出すことができるのです。今この開発したダイヤをレーザーに反射させ白血病治療に応用しようと新潟医大との共同研究中です。

**Q.** 最近、ダビンチ流行りですが、この度、首藤さん御自身も「モナリザを解く」という本を出版されましたね。元々、首藤さんは数学には御興味をお持ちだったのでしょうか? ダビンチのお話しも聞かせていただけますか?

**A.** 小学4年生の頃、もうすでに数学には興味がありました。1年間で6年生までの数学を終え、たまたま中学時代も高校時代も担任の先生が数学の先生だったので、先生を相手に問題を作って遊んでいました。私の場合、問題を出されると、全て暗算で解いてしまうものですから、いきなり答えがでてしまいます。随分カンニングをしているのではないかと疑われたものです。数学は習うものではないと思っていましたね。

ある時、事務所にフランスからのお土産でいただいたダビンチのヴァイトルヴィス図を飾っていたのですが、たまたまその図を眺めていたら、この図には沢山の物が隠されている事に気づきました。実はモナリザの秘密も、ピラミッドの事も、バチカンの設計図まで隠されている事が分かったのです。

**Q.** いろいろな分野で活躍される首藤さんの原動力は何なのでしょう?

**A.** あなたは人間の免疫力でどんどん落ちて行っていると考えていませんか?実はそれは大きな間違いなのです。よく100%の力を出すといいますが、実は人間の力には、1,000%の力があるのです。殆どの人がその力に気づいていません。本来自分の持っている自分自身に重なる事で肉体と魂を重ねる事ができるのです。本来の自分自身になりきる事で社会の隠れた自分を見つめて、自分自身に重なる。人間の力は氷山の一角のように、実は表面に出ている部分よりも海の中に隠れている部分が多いのです。ひとりひとりがその事に気づいたとしたら、とても凄い事になりますよね。実は、数学を解くという事は宇宙までのナビゲーターなのです。エジプトにもう何年も通っておりますが、砂漠の緑化運動もあって、砂漠を何キロも歩いていくのですが、そのど真ん中にピースポールを建てた時、その建てようと思ったその場所に、1年前に私達と同じ場所で祈っていたというアラビア語で書かれた、痕跡がありました。その時、世界はみんな繋がっているという連帯意識を感じました。



**Q.** 最後に、これからデザインを目指す人の為にアドバイスをいただけますか?

**A.** 物事の根本をデザインする方向。つまり、奇抜なデザインばかりを追うのではなく、自然に、生活に溶け込んでゆくようなデザインが、これからいつまでも長く続くデザイン力になるのではないのでしょうか?

実は、4月27日に始めて1,008面体のダイヤが出来上がりました。まるで、水のようなダイヤです。平和への祈りを込めて、6月の始め、広島にて発表しようと思っております。



### ●Profile

#### 首藤 尚丈 しゅとう なおたけ

1947年、青森市生まれ。一級建築士。ディアナサン株式会社代表取締役、TAS一級建築事務所代表取締役。数々の設計コンペティションで入賞しているほか、論文「情報化時代の建築施設群システム」で下出賞を受賞するなど、独自の設計哲学を持つ。また、数学のトポロジー(位相幾何学)研究者としても知られている。著書に「政宗の黄金の城」「ダヴィンチの黄金のピラミッド」「モナリザを解く」など。

#### ディアナサン株式会社

WEB: <http://www.dianasun.com/>

# Report

## 「ルイジアナ現代美術館」「森の火葬場」 平田圭子(広島工業大学)

冬に訪ねないと北欧のインテリアデザインは理解できないと言われるが、私は初めての北欧であるデンマーク・スウェーデンを、3月の初旬、6泊8日で訪れた。気温は-5度から-10度。街は雪に覆われた冬の景色であり、室内は春咲く花の色のように明るい色彩であふれ、それを堅牢な石材やコンクリート、煉瓦の構造物が仕切っていた。

今回の見学目的は、北欧における ① 高齢者福祉施設・公共のユニバーサルデザイン、② 環境デザイン (landscape・architecture・interior)、③ プロダクトデザインの現状を見ることであった。その中で何に感激したかという点、デンマーク・コペンハーゲンの「ルイジアナ現代美術館」とスウェーデン・ストックホルムの「森の火葬場」であった。

「ルイジアナ現代美術館」は、コペンハーゲンから北に延びる海岸線にそって車で約30分。右手にオーレンス海峡を背景にした広い敷地の住宅が並び建つ。遠くには風力発電装置が何基も見える。行く途中には Ame Jacobsen のアリンコチェアの形の庇を持つガソリンスタンドと、ベルヴューの住宅地区が見える。この一帯はデンマークのリビエラ海岸と言われているようだ。その延長上のフムレベックに「ルイジアナ現代美術館」がある。

「ルイジアナ現代美術館」は、1958年にクヌード・ヴィ・イェンセンによって開館された。ヘンリー・ムアやフェルナン・レジェ、アレクサンダー・カルダー等々の1950年以降の現代美術がコレクションされている。平日は17時までだが、水曜日だけ22時まで開館している。建物は、海の見える緩やかな起伏を持つ丘に回廊式に配置される。いくつもの大きなガラス張りの開口部を持つ展示室が地上から地下、半地下へと繋がる。その開口部からはオーレンス海峡や緩やかな丘に届け込む現代彫刻を見ることができ、それが展示室から広大な庭へと誘導する。どの展示室からも庭に出ることができ、自分の気分で自由に回遊することができる。冬のオーレンス海峡は群青色でカルダーのモビールが際立つ。緩やかな丘にはそれとない道がつけられ無理に人を誘導しない。視線の先にある自分の居場所のように鎮座する彫刻に惹かれ、木立や斜面に惹かれ、そこに刻まれたベンチや階段に心が惹かれて空間を楽しむように歩む。ここは現代彫刻を見て楽しむというより、自然の地形とアートと建築とそれをとりまく空と海とのすべて融合された空間によって心を楽しませるために存在する。このような空間をランドスケープデザイン、環境デザインというのだろうか。もとよりある自然やその地形はすばらしいのだが、人の手によりそこにアートや建築が組み込まれプログラミングされることにより人の言語でその場を解釈することが容易になる。美術館内部には、カフェやミュージアムショップ、コンサートホール以外に、子供の遊技場がある。大人が美術館を見ている間の一時預かり的なものではなく、工作ができたり、コンピューターで遊んだり、専門の人による指導もあるようだ。スウェーデンの Erik Gunnar Asplund 「ストックホルム市立図書館」にも年代別に何室も子供のために用意され、3・4歳～10歳くらいの子供達が多く過ごしていた。上質の空間を当たり前のように自分の居場所として育つ子供達は、自ずと大人になって生み出す社会環境は異なるだろうことは容易に想像できる。冬の「ルイジアナ現代美術館」もすばらしかったが、初夏の草木が青々している中で再訪したいものだ。

「森の火葬場」はストックホルムから地下鉄で20分くらいの郊外にある。駅に降りるとプラットフォームに沿ってうっそうとした林が見える。改札口を出ると右手側の道路の歩道を囲むように街路樹が植えられており、それに促されるように2、3分歩くと「森の火葬場」のゲートにたどり着く。その日は吹雪いており、この日を逃すと「森の火葬場」は見られないかも知れないと意を決して訪れた。火葬場だからにぎやかな景色であるはずがないが、吹雪の中の墓地と火葬場はよけいな景色を省き取り、地形に沿った雪の面と暗い木立とその下に並ぶ多くの小さな墓地が静けさを増長させていた。雪をかき分け礼拝堂にたどり着き中に入ると、その世界は私が体験してきたインテリアでは、一番長く息が止められた空間であった。建築ガイドブック等を見ると「精神性が高い」と表現してある。その時は誰もその空間にはおらず、建築が持つ力のすごさに、Erik Gunnar Asplund のすごさに圧倒されることに浸って居られた。15分位すると喪服の人たちが数名入ってき、棺が設置された。

こんなにすばらしい空間で葬式があげられるのはどのような気持ちなのだろうか。葬式の間は、礼拝堂は部外者には閉じられた。冬の葬式と初夏の葬式ではかなりの違いがあるのではないだろうか。緩やかな地形は芝生に覆われ、木々には葉が生い茂り、鳥はさえずり、天国に近いのかも知れない。雪をかき分けて入った礼拝堂も、初夏だのように思えるのだろうか。ミスで「森の火葬場」のデジタルカメラのデータを消してしまった。記憶の中だけに冬の「森の火葬場」が残されたのは良かったのかも知れない。



# Report

## 「晩秋の巖島・古民家再生見学会」

講師: 福島 俊を

去る平成16年12月4日、「晩秋の巖島・古民家再生見学会」を開催いたしました。参加者は定員の30名を上まわる45名となりました。講師に建築家でもありガラス絵作家またイラストレーション作家でもある、福島俊を氏を迎え、改装された店舗を訪れました。

初めに、訪れたのは「ゲストハウス 菊がわ」さん。レトロモダンな町屋ホテルで、入って左側には一番奥にカウンターのある食堂となっていました。大きな梁と福島氏デザインの瓦を使った照明が印象的で気持ちのいい空間でした。

次に訪れたのは、「旅荘 かわぐち」さん。建物はすでに新建材などにより、改装に改装を重ねられていたそうです。今回、改装されるにあたり新建材を剥がしたところ、昔の梁、板がどんどん出てきました。その都度、設計変更され、そこにある材料を生かす方法を考えられたそうです。その時のご苦労は計り知れませんが、そこにある梁や欄間が全く古いものではなく、空間の中で魅きたって見えました。

次に「酒と器 久保田」さんを訪れました。以前に福島氏の改装を見ていた久保田さんは町屋通りの町づくりを強く意識するようになったそうです。通りの面した看板を福島氏デザインの木製にされ、たばこの自動販売機も板で覆われて細部にまでこだわりが感じられました。

最後に訪れたのは「ぎやらい 宮郷」さん。喫茶・貸しギャラリー・骨董店を営まれています。以前は、江戸時代から続いていたしゃもじ問屋の作業場であったということです。通りに面した格子が美しく、中に入ると、作業場であったことを思わせる高い天井と、立派な梁が店内の心地よい雰囲気をつくり出していました。それとは対照的に、細部を見ると引き戸の取っ手は作業場にたくさんあったという、しゃもじを加工して作られていました。福島氏の物を大切に考えておられることを感じられるものでした。

この見学会を通して、古民家の再生とは、その家の歴史を大切にし、そこに生活、活動する人を大切に考えてこそ、建物が生き生きと生き返るものだというを実感しました。

世界遺産・巖島の町屋が持つ昔の梁、板材、建具、欄間を生かした福島氏の改装は、巖島に住んでいる人たちの意識を変え、これからの宮島の町づくりにつながっていくのだろうと感じることのできる見学会となりました。

エルイーオー設計室  
羽村 知佐子



# Plannig

## ラミア カーサ 森 建築工房

可部線古市橋駅より北へ300mの線路沿いの道を挟んで南北に30m東西に10mと13mの変形土地。もともと木造の戸建賃貸3棟を解体して、建設することになった。

設計では配置に苦勞した。道路斜線、採光の問題、生活用通路、駐車場、駐輪場、居室の天井高、収納量、等々。そして安く。設計をするものにとっては制約が多いほど、闘志がわくものではあるが。モジュールを900mmとした。根太をなくし大引、梁を900mm間隔とし、構造合板24mm+木質フロア12mmにより剛床構造とし高さをできるだけ抑えた。4棟をずらすことで、各棟の採光、駐車場の確保、隣同士の視線が気にならない、戸建て感覚のメゾネットタイプにした。

工期の短縮・高気密・高断熱の実現のため、木造在来軸組み工法とパネル工法(硬質発泡ウレタン50mm+構造用MDF)の融合による工法、開口部に断熱サッシを採用。外壁はサイディングにより通気層を取り、空気の流れを作ること、木を呼吸させ、住まいを長持ちさせることが出来ればと思う。

豊富な収納量と界壁部収納により隣住戸の遮音効果を高めた。枕棚の有効幅を仕切壁を取り付けず収納幅いっぱいまで使えるようにし、長尺物のカーペットなど収納も可能にした。多目的に利用できる納戸や玄関も喜ばれている。

現場での位置出し、遣り方には思っていた以上に苦勞した。施工場所までの進入路が狭く資材搬入は積み替え、小運搬をしながら搬入した。建て方は2台のレッカーを使用して行うなど、近隣の方の協力もありスムーズにできた。

私はリフォームの設計施工を主にしており、今回のオーナーの紹介により昨年、馬木(住宅74坪)で完成引き渡しと、今回はオーナーご主人の建設は久々の新築の連続となった。

賃貸住宅であっても仕様を落とすことなく見えないところまでにこだわり、10年後にお金のかからない家を造りたい、と思いがあった。オーナーの協力(資金的、建物へのこだわり、プラン上での理解)が、設計者と施工者お互いのもの造りに対するこだわりが実現できた。オーナー、入居者、近隣の方々にも喜んでいただけるものが完成し、お引き渡し、ご入居(施工途中で4所帯とも入居者が決まり安心)が出来たことが一番うれしく、この仕事をやっていてよかったと思う。やめられませんね。

玄関の室名札はオーナーの友人のガラス作家との共同手作り品である。

森 隆

「ラミア カーサ」

所在地 : 広島市安佐南区

敷地面積 : 324.89m<sup>2</sup>

建築面積 : 174.96m<sup>2</sup>

延床面積 : 306.18m<sup>2</sup>

構造規模 : 木造 2階建

設計・監理 : 森建築工房

施工 : (有)有森工務店・森建築工房



# Plannig

## プレゼンテーションルーム

荒谷 ハツエ

マンションリフォームには様々な制約があります。実際にどこまで可能なのかやってみようと思いがちですが、プロジェクトメンバーによるプレゼンテーションルームです。施主にわかりやすい内容と料金で短期間に快適な住空間を提供することが目的です。

開放感のある空間、機能的かつ美的、健康的な暮らしを可能にするために、スケルトン状態に戻し、「空間の骨格をリメイク」からスタートすることが決定しました。発生すると考えられるすべての問題点を洗い出す作業も同時進行しています。

モデルは、広島市東区に実在するマンションから床面積66.44㎡・3LDKです。ここを「シニア世代夫婦のゆとりある今後のライフスタイル」にリニューアルプランしました。

玄関、トイレ、浴室、リビングは広く明るく、小さくても和室がほしい、愛着のある家具はどうするのか、など具体的になれば限られた面積の中で悩みが大きくなるばかりです。自然素材にこだわりたいと意気込んだものの価格や納期の問題で躓き、妥協を余儀なくされましたが、床は杉材、壁は珪藻土や漆喰シートなどを使用しています。

リビング壁面は使い込んだ家具のスペース、キッチンコンパクトだがパントリーを設けて収納量を確保しています。丸柱はパイプスペースです。寝室からウォークインクローゼットを通してトイレ、洗面室、浴室、バルコニーまで開放できます。水周りの位置を大きく変更したことで床高が上がり、天井高や梁下高、既存テラスサッシの取合いなども苦慮した点です。従来のPSがキッチン横に現れ、パイプを柱に見せるデザインにしたが、現実的に音の問題など処理すべきことは多いと思います。

完成したモデルは、不完全ながら今後の大きな糧となる試作住宅です。工期、予算、問題点の対処方法、施工方法など課題は多いものの成果の期待できるプロジェクトです。

荒谷 ハツエ



### ■プレゼンテーションルーム

所在地：広島市南区宇品

メンバー：下岸建設／CAF垂井／西日本ノア／スペースSA・RA

## Report

### 愛・地球博

EXPO 2005 AICHI JAPAN

エルイーオー設計室  
羽村 知佐子



2005年3月25日より「愛・地球博」が開催されています。

5月28日にインテリアプランナー協会の全国大会が名古屋で開催されました。

大会会場は、産業技術記念館で総タイル貼りの美しいトヨタの紡績工場跡地で行われました。その後、市内から1時間半ほど移動し、三州足助村のなかの葦葺きの宿泊施設で懇親会を兼ねて宿泊。翌日、「愛・地球博」に向かいました。



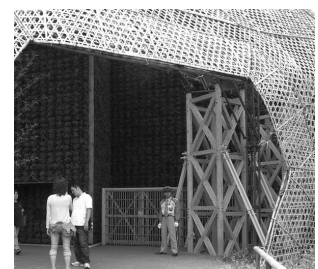
リニアモーターカーで会場に着くと、一番大きな北ゲートから入りました。会場に入るとすぐにメインストリート「グローバルループ」に出ます。会場内を1週する2.6Kmにおよぶ空中回廊で、それぞれのパビリオンを結んでいます。

会場は、もともと野球場やテニスコートで、すでに開発させた場所を利用しているそうです。しかし、その広い会場には40mの高低差があり、なんとか自然の地形を残しつつ、バリアフリーで歩きやすい会場を実現させるためにゆるやかな高低差で作られたものが「グローバルループ」です。そのループからパビリオンへは、ゆるやかな階段を降りていく、もしくはエレベーターやエスカレーターを利用するというかたちです。

わたしが関心したのは、愛・地球博はこのループのおかげで今までは博覧会とは違い、木を切ったり池を埋め立てたりすることのない非開発型万博ということです。

自然との共生やテーマを人間ではなく「自然の叡智」としているのは、この会場づくりに一番あらわれているのではないのでしょうか。

最後に会場内を走るIMTSという自動制御の無人バスに乗りしました。携帯電話の普及のように、この無人バスが十数年先には街中を走りまわっているのではないかと期待しながら会場を後にしました。



■会場内の見たいイベントやパビリオンの予約状況・確認がWEBから可能です。  
<http://www.expo2005.or.jp>

# mini Lecture

## 「これからの店舗デザインのテーマ」

講師: カーサ商業建築研究所  
山本 胖

店舗をデザインということは、建築のそれとはテーマのとらえ方が異なる。店主の「考え方」とか「生き方」をいかに表現してやるかということであって、山本氏はすべてを「トータル」で考えていることがよく分かった。デザインをするものの一人歩きでは成り立たないものであり、店舗が店主とともに、そして消費者とともに成長していけるようなデザインをして行かなければ意味がないのだと感じた。増築やリニューアルは成長の過程であり、これらによって出来上がったすばらしい店舗の集合体があってこそすばらしい街となると思う。山本氏が言っておられたような「新たな文化を誘発するような提案」があればあるほどその街に訪れるかいがあるだろう。

山本氏は様々な作品をスライドで披露してくれた。素材感や色々な要素から特徴的な作品を手がけておられたが、中でも印象に残っているのは銀行だった。今に見る銀行は何か冷たいイメージで、ただ早く便利にというように合理性ばかり追求し尊厳感が足りないものばかりである。山本氏が手がけた銀行は、「訪れた客に何をあたえるか」ということを大切にしており、暖かい空間を演出している。カウンターは木で、壁はさかん屋さんにと...というように細かいディテールまでこだわり、ただ早いだけ便利だけの銀行ではなかった。客と店員の距離までよく考えられており、これがデザインなんだと感じた。

山本氏は「日本人にとって大切な美学」として、「間の美学」「不統一の美学」「余白の美学」をあげられていた。店舗デザインのテーマは「人の心」だと言われていたが、その際に日本独特の美学が大きく関わってきているのだと思う。これは精神的なもので日本人の美意識に関わると思うし、この独自の美意識をもう一度見直して行く必要があると感じた。

今回の講演を聞き、店舗で良い空間をつくりあげるためには色々な要素を踏まえた上で、トータルにデザインしなければならないことがよく分かった。そのためにも建築を学ぶことは重要であると確信すると共に、ただ単にデザインが良いだけでなく味とかサービスとか他にも大切なものがたくさんあるんだと考えさせられた。

広島工業大学 久兼 将弘



## Topics

### スロービジネス・スクールから 講師: 辻 信一

ブータン国では、国中の人々はみんな王様が大好きでした。  
ある時、王様が国民に提案しました。  
王様「この国を王政ではなくて、せっかくだから民主政にしたらどうだろう?」  
国民「どうして?今のままでみんな満足だよ。でも王様がそういうんだつたら..」  
王様「ちゃんと民主制にしてね、憲法を作ろうよ。」  
国民「王様がそういうんだつたら....」  
王様「世界ではね。GNPっていうものがある、それでその国の豊かさを計るんだって...、世界の豊かさが、どうして、GNP「国民総生産」productで計れるの?「GNH」happinessで計ったらどうだろう? きっと我国は世界でも有数の豊かな国だよ。」  
となると... 一体、日本のGNHは世界の何番目なのでしょう?

実は、土地、労働、お金といった「市場は、擬制」(フィクション)であるというのだ。お金とはあるコミュニティーにおいて、ある「何か」を交換の媒体として使うというひとつの取り決めである。まず、重要な事は、我々が「お金はモノである」という幻想から自由になるという事である。我々が頭の中にあるお金とモノの結びつきを切り離すためには、無人島に取り残されたことを想像してみればいい。ナイフのようなモノは役立つだろうが、いくらたくさん紙幣や金の延べ棒を持っていてもそれは何の役にも立たない。なぜかといえば、お金はあなたが無人島にひとり暮らし始める時点で「もうお金ではなくなってしまう」からだ。と...。現実の世界で起こっている出来事からもお金がモノではないことがわかる。地域通貨や代替通貨や補充通貨と呼ばれる「もうひとつのお金」がこれからの世界において、重要な役割を果たすと考えられている。

今人類は、その存続が危ぶまれるほどの危機に直面しているのだが、それはこれまでの経済のあり方が歪んでいっただけに他ならない。本来社会が平和で安定したものである為には道教(タオイズム)という「陰陽」のバランスが必要なのだが、これまでの経済は男性的な「陽」のエネルギーを持つ通貨に支配されてきたし、それは今グローバル化とドルの一極支配が強まる中で、ますます「極陽」化している。そこで、女性的な「陰」のエネルギーを活性化し、社会にバランスを回復する「もうひとつのお金」の役割に注目するのだ。つまり、ドルや円といった「陽」の通貨にとって替わるものではなく、むしろそれを補充し、バランスを回復するものとしての通貨。僕なりの言葉で言えば、スローマネーだ。時間という事に焦点を絞って考えてみると、本来、我々人間が動いている時間があるように、動物には動物の時間があり、植物には植物の時間があるのだ。スローを考える上で「競争」ではなく、「共生」のエネルギーに切り替えてゆく意味をも持っているだろう。日本の伝統的な共同体における「結」という相互扶助のネットワークを再活性化させ、これまでの政府主導・企業主導から、共同体主導・地域主導へと切り換えていくという意味をも担っているだろう。

お金よりも重要なモノがあるという事がもっと常識として扱われるようになると、もっと様々な事、勿論今までのビジネスのあり方事態も変わって行くだろう。

#### 辻 信一

文化人類学者、環境運動家。明治学院大学国際学部教授。NGOナマケモノ倶楽部の世話人を務める他、数々のNGOやNPOに参加しながら、「スロー」というコンセプトを軸に環境文化運動を進める。

#### 著書

『スロー快樂主義宣言!』(集英社)  
『スローライフ100のキーワード』(弘文堂)  
『ピーススローソク』(ゆっくり堂)  
『スロー・イズ・ビューティフル』(平凡社) 他

# 賛助会員紹介

## アイカ工業株式会社 アイカ デザイナーズ・セミナー

### AICA DESIGNER'S SEMINAR

AKIO YACHIDA WORKSHOP Architecture and Plannig

テーマ:「都市住居の原理」 **谷内田 章夫**

谷内田 章夫/ワークショップ主宰

**2005.6.16 13:30~15:00** (開場13:00)

広島市南区民文化センター2F (定員150名/先着順・入場無料)

お申し込み先: **アイカ工業株式会社 広島支店** 担当: **光宗** (みつむね)

〒734-0037 広島市南区霞2丁目9-10

TEL.082-254-1311 FAX.082-255-8817

#### 都市住居の原理

都市のなかでアメニティを享受し、豊かに暮らそうというひとがふえてきています。私はこの10年ぐらいの間に都市住居をテーマとして、限りある都市空間の中に如何に快適な居住ユニットをつくり、それをどう集合させ組み合わせるかを考えてきました。それは単純な原理の積み重ねです。それをみなさんにわかりやすくご紹介し、ご意見をうかがい、共に都市住居を考え、豊かにしてゆくヒントを得る機会となればと思っております。

<http://www.aica.co.jp/>

E-mail: [kazuki.mitsumune@aica.co.jp](mailto:kazuki.mitsumune@aica.co.jp)

## 株式会社フジタ建材 ベンジャミンムーアペイント

ベンジャミンムーアペイントは1883年に誕生したアメリカを代表する塗料メーカーです。

弊社では大型建材店アビタの店舗内に3,500色を調色するマシンを導入して、お客様の目の前でご希望の色を調色しています。上品で美しい仕上がり、優れた耐久性、安全そして超低臭といった特出した性能はペイントの国であるアメリカ市場の激しい競争を勝ち抜き100年以上

の歴史をもったベンジャミンムーアならではのなせる業です。今まで、艶消し(マット)仕様のペイントでは汚れが付きやすくメンテナンスが難しいために天井等の汚れが付きにくい場所での仕様が主流でした。しかし、この度ベンジャミンムーアが発売したリーガルフィニッシュは落ち着いたマット仕上げでありながら二分艶のエッグシェルと同じように汚れが付いても洗剤とぬるま湯で簡単に拭取れます。

是非、一度お試し下されば幸いです。

株式会社フジタ建材 〒731-5145 広島市佐伯区隅の浜2-1-18 TEL.082-921-1121

<http://www.fujitakenzai.jp/> E-mail: [j-fujita@fujitakenzai.jp](mailto:j-fujita@fujitakenzai.jp)



## 株式会社沖田 木の家づくり

当社では、昨年10月、住まいと暮らしのギャラリー「OMエコショップholz(ホルツ)」をオープンいたしました。暮らしのこと自然と共生すること、物を手づくりすることなど、衣食住を通していろんな人たちと一緒に考えるところです。店内では暮らしに役立つ書籍や小物から、体にやさしい塗料や建材、地元の作家による家具や器、生活小物などの作品、環境に配慮された商品を集め、紹介するとともに販売もしています。holzとはドイツ語で木という意味。木を使った心地よい住まいと、少し豊かな暮らしの提案ができればと思っています。

沖田では、家づくりは施主と私たち工務店との共同作業だと考えています。そして素材にかかわる人、技術の人、暮らしを設計する人、それぞれの顔が見えてくると、つくりたいこと、できることも見えてきます。物に触れ、見聞きし、想像力を働かせる。新しい出会いが可能性を拡げ暮らしを豊かにしてくれます。また「OMエコショップholz(ホルツ)」は家づくりの楽しさに出会う場です。家づくりは本当に楽しいことです。これらの生活の夢が実現する過程でもあるからです。安心して長く住める家。地震や台風にも強い家。健康で安全な家。機能的で美しい家。そして空気のおいしい家。等々話あえれば幸いです。是非一度ご来店くださり沖田の家づくりのことなどご覧ください。

沖田博/株式会社 沖田 〒730-0053 広島市中区東千田町二丁目3-17

TEL.082-243-1101 FAX.082-247-6237



## 西武株式会社 人に環境にやさしい自然派壁紙「ノイエローヴ」

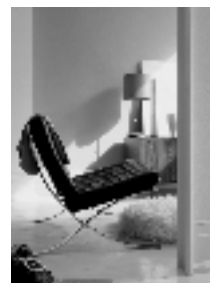
弊社は、オリジナルクロス開発から、デザイン・クリエイティブ、そして製造・販売・施工まで一貫したトータルシステムであらゆる空間創造に対応した商品とサービスを提供致しております。特にオリジナル壁紙「ノイエローヴ」は、自然素材のもつ上質な材質感と色彩の美しさを織り交ぜた風合い重視のコレクションです。壁面の表情を豊かに演出するために、針葉樹パルプから作られるレーヨン素材の織物シリーズ(Lシリーズ)をはじめ、個性的な趣をもつ珪藻土や紙など、それぞれ質感が異なる素材でコレクションが構成されています。お部屋のイメージ作りの際、居住者のスタイルや感性に合わせて、壁面全体に全面貼りをしたり、部分的にアクセントクロスとして使用したりと、工夫次第でさまざまなシーン展開が可能です。モダン、ナチュラル、和風など様式を選ばず幅広く対応し、自然素材ならではの飽きのこない華やかさが、上品で風雅な空間を生み出します。

近年の住環境を取り巻く環境汚染、人体に深刻な影響のシックハウス症候群など、環境問題が取り沙汰され、業界基準、法制度もいっそう厳しいものに改正されています。「ノイエローヴ」は住環境に配慮し、可塑剤、溶剤など一切用いず、問題となっているホルムアルデヒドやVOCなどの有害な物質を含みません。また、焼却時や万一の災害時にもダイオキシンなどの有害物質を出さず、煙の発生が極めて少ないので、人体や大気を護ります。

収録のLシリーズでは素材の特性から吸放湿性能にとても優れています。室内の湿度が高くなると壁紙の表面自体が水分を吸収し、乾燥すると発散し、室内を快適に調整します。「ノイエローヴ」は、毎日の生活を安全で快適なものになるお手伝いをします。皆様、自然素材にこだわった「ノイエローヴ」を通して、本物から伝わる存在感を存分に感じてください。

西武株式会社 広島営業所 〒730-0843 広島市中区舟入本町18-3

TEL.082-292-9740 FAX.082-295-0073



# IPEC 21-2005

## 5th INTERIOR PRO EX CO

www.ipec21.jp

2005年9/28 [水] - 30 [金]  
東京ビックサイト〈西ホール〉

インテリアからの発信

ひと  
環境  
デザイン

### 平成16年度 中国インテリアプランナー協会活動記録

2004. 05.29	講演会『内へのインテリア』
05.29	平成16年度総会
10.13~15	IPEC21
11.19	ミニレクチャー『これからの店舗デザインのテーマ』
12.04	見学会『晩秋の巖島・古民家再生見学会』
12.15	『法人インテリアプランナー協会』発足

### 〈平成17年度総会のご報告〉

- 6月4日(土) 13:00~14:00
  - 広島市中区大手町2-5-11 ハルゼンビル
  - 平成16年度活動報告及び会計報告
  - 平成17年度活動計画及び予算案の承認
  - その他
- 平成17年度総会を上記の要領で開催いたしました。  
会員の皆様に多数ご参加いただきありがとうございました。

### 〈事務局より〉

- ・平成16年度会費未納入の方は、早急に納入下さいますようお願いいたします。
- ・住所変更、事務所移転などありましたらお知らせください。  
又、近況報告も随時お寄せください。
- ・新会員募集  
当協会では新規ご入会の会員を募集いたしております。インテリアプランナー資格者の方ご紹介くださいますようお願いいたします。

### 〈編集後記〉

昨年秋より、CIPAの事務局スタッフが変わりました。  
また、新たなスタートをした訳ですが、早々にヒヤヒヤもの…。皆様にはいろいろ御迷惑をお掛けしておりますが、どうぞ、よろしくお願い致します。この会報誌も事務局が変わり新規にリニューアルしまして、4作目です。  
今回の会報誌の紙は「水」色。何色にも染まらず、水のように流れゆく…  
会報もそんなイメージに…と、常に思いつつ…  
皆様の沢山の御意見、発表の場にしていただけますように…。広島は、今年被爆60周年を迎えます。これからの希望を持って…。  
また新たなスタートです。

### バルセロナからの寄稿 「オブラ(現場)」

前回の寄稿から早一年、待ちに待ったオブラ(現場)が始まりました。前回紹介したエキスポ「Forum Barcelona 2004」の跡地、地中海に面するヨットクラブの建設に伴うランドスケーププロジェクトです。

大学、前のオフィスを通じて縮尺は1:20,000からせいぜい1:200止まりだったものを今は1:10までスケールダウンして図面を書いています。正直なところ、実施設計の過程はプロとして通り過ぎなければならない一過程ではあるけれども、初期の構想段階と比較して、地に足をつけなければいけない分、創造的な部分は少ないのだろうと覚悟していたのですが、これがなかなか面白い。はまっています。

コンセプト的に面白い、デザイン的に美しいものが、現実的に建設できないという理由で、簡単に覆されていきます。なんだかカッコよさそうという曖昧な考えを、実施設計、施工監理はことごとく粉碎してしまうのです。全く潔くて頭が下がります。その難しさを乗り越えて、初期のコンセプト、デザインをどこまで維持していくことができるかということも、ランドスケープ・アーキテクトの重要な才能の一部で、これは生まれながらの才能と言うよりは、長年の経験に裏打ちされた地道なものではないかと思えます。

デザインを超えたデザイン。デザインをしないデザイン。今そんなことを考え始めています。5年前、アメリカの大学でどうやってデザインするかしか考えていなかったことを思うと、思えば遠くに来たものです。

2005年4月30日  
ランドスケープ・アーキテクト  
飯富 美香



### 〈(財)建築技術教育普及センターより〉

#### 平成16年度 インテリアプランナー試験の結果

	学科試験	設計製図試験
受験者数	264人	423人
合格者数	139人	128人
合格率	52.7%	30.3%

### 平成16年度 中国インテリアプランナー協会会員数

正会員: 80名 準会員: 0名 学生会員: 0名 賛助会員: 12社  
平成17年度 5月10日現在

発行者: 中国インテリアプランナー協会  
〒731-5135 広島市佐伯区海老園1-13-7  
TEL. 082-923-2132 FAX. 082-922-0018

HP: <http://cipa21.com/> E-mail: [cipa@cipa21.com](mailto:cipa@cipa21.com)

発行日: 平成17年6月1日

編集: 日高卓三、中川裕二、中川圭子、羽村知佐子